

会 議 録				
平成29年度第1回 生活支援事業協議体	日 時	平成29年5月23日(火) 15時30分～17時30分	場 所	小金井市役所 第2庁舎 501会議室
事務局	小金井市福祉保健部介護福祉課			
出 席 者	委 員	高良委員長(東京学芸大学) 近江屋委員(ボランティアセンター) 阿久津委員(地域福祉コーディネーター) 森田委員(また明日デイホーム) 清水委員(民生委員児童委員協議会) 高橋委員(さくら体操リーダー) 第2層コーディネーター 黒松氏(小金井きた地域包括支援センター) 金子氏(小金井ひがし地域包括支援センター) 馬場氏(小金井みなみ地域包括支援センター) 雨宮氏(小金井にし地域包括支援センター)		
	事務局	鈴木高齢福祉担当課長、長谷川、松原、所(介護福祉課)		
傍聴の可否	◎可・一部不可・不可		傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
1 開会 挨拶 鈴木高齢福祉担当課長				
2 議題 (1)報告事項 ① 事務局より連絡事項 ② 平成29年度4月分の連絡会議報告 ③ 平成28年度の活動報告および評価について ④ 平成29年度の活動計画について (2)協議事項 きた地区の今後の具体的展開について (3) 次回協議体の開催予定				
3 その他				
4 閉会				
1 開会				

## 2 議題

### (1) 報告事項

#### ①事務局より連絡事項

(高良委員長)

それでは、まず「(1) 報告事項」からお願いしたいと思います。「①事務局より連絡事項」でお願いいたします。

(松原)

前回の協議会で、東小金井南口商店会で行ったアンケートをについて、対象者はどの範囲かというご質問を頂きました。これについては私の方で確認したところ、実際に商店街に来られた方を対象にとったアンケートでして、商店街に足を運べないような高齢者の方に関しては、漏れているという状況だと思います。

ただ、そうした人たちが漏れている状況でも、回答された多くの人たちが、日々の宅配サービス等を必要としているデータとしても見られますので、買い物に困らている方というのは、我々が予想している以上に多いのではないかと感じております。

商店会の活動につきましては、今後とも連携をとらせていただきたいと思いますということで、お話をさせていただいておりますので、何かありましたら、協議体でも御報告をさせていただきたいと思います。

事務局からは、以上です。

#### ②平成29年度4月分の連絡会議報告

(高良委員長)

それでは、②に移っていききたいと思います。「②平成29年4月分の連絡会議報告」について、お願いいたします。

(松原)

連絡会議について、報告をさせていただきたいと思います。

まず1点目としまして、前回の協議体にて社協で地区担当をそれぞれ配置したということがありまして、今後、顔を合わせた連携をしていこうという話でしたが、まだ社協側で、体制の準備中であるということなので、今のところは、阿久津さん又は近江屋さんを社協側の窓口として連携していくことを確認しました。

次にひがし包括では、社協と協力して地域懇談会を5月13日に開催しました。こちらで、皆さんがおっしゃっていたのが、独居の高齢者で、見守りの目が届いているのかといった心配があることと、地域とのつながりが薄いということも課題ではない

か、そういった御意見が出ておりました。

次に、阿久津氏よりNPO法人連絡会についての御報告がありまして今後生活支援事業を進めて行くにあたって情報を共有していった方が良いのではというご提案がありました。

続きまして、みなみ地域より、天神前集会所での居場所づくりの一環として、出店販売を考えているが、東京都の地域の底力再生事業助成について利用はできそうかというご質問を受けました。

こちらは都で行っているものでして、町会・自治会を対象に、高齢者の見守り活動等の取り組みについて、直接都に申し込んでいただくものになります。

それとは別に、東京ホームタウンプロジェクトという都で行っている取り組みがありまして、例えば新しく高齢者の見守り活動を始などといった団体に対して、広報はどうすればいいのか、人を集めるにはどうすればいいのかなどといった御相談に乗っていただけるというような内容になっています。そこは、市を通して、団体を推薦して行うということになっておりますので、そういったところを連絡会議の後に、各コーディネーターの皆様に御案内しまして、推薦団体を受け付けているという状況になっております。こちらも、進捗が進み次第、こちらの協議体で御報告をさせていただきたいと思っております。

以上がこちらの連絡会議で出た事項の報告となります。

(高良委員長)

ありがとうございました。

何か補足で御報告がありましたら、お願いいたします。

(清水氏)

東京都の底力補助金というのは、管理が非常に大変なため、私の町会はやめてしまいました。

(高橋氏)

高橋です。

私の町会は去年大がかりな防災訓練をやって、大型の防災用テントが買えました。ただし、後先の申請とやっている過程での報告書をきちんと作るという条件が非常に厳しいので大変だったと聞いております。

③平成28年度の活動報告および評価について

④平成29年度の活動計画について

(松原)

それでは、今からコーディネーターの皆様に順番で③平成28年度の活動報告および評価と④平成29年度の活動計画について発表していただきたいと思います。

(雨宮氏)

28年度のにしエリアの課題分析・評価シートをごらんください。にしのエリアでは、目標を余暇活動の場を可視化し情報を発信する、地域高齢者の集まれる場所に関するニーズを把握する、集まれる場所を探すという目標を立てました。

こちらの結果に関しましては、地域とつながる応援ブックを作成し情報を発信するという目標を達成することができました。加えて、各社会資源の余暇活動の場所を撮影して、小地域ケア会議で紹介をいたしました。

また、にしエリアの各町内会の徒歩圏内に、1カ所以上集まる場所をつくることができました。

集まれる場所を探すという点では、新しく本町4丁目でさくら体操を行っており、集まる場所ができ上がりました。

28年度の反省点なのですが、地域の担い手となってくれそうな高齢者を生み出すことができませんでした。

次に、29年度の活動計画・評価シートをごらんください。長期活動の目標には、楽しみのある地域をつくるということを挙げさせていただきました。

短期活動目標は、1番目として余暇活動の情報を発信、地域とつながる応援ブックで、情報提供をすることを行ってまいりたいと思います。

2番目の地域高齢者と地域をつなぐというところですが、まだ地域とつながっていない方も多いので、こちらも課題として挙げました。

3番目なのですが、地域高齢者のニーズを把握するというのを挙げました。28年度にも実際に歩いて集まれる場居場所というものを調査しましたが、みずから参加しない高齢者の方々もいらっしやいまして、いろいろなニーズがあるということを感じました。29年度は、こうした新たなニーズについても、検討していきたいと思っております。

4番目、地域活動の担い手となり得る元気高齢者を発掘する。28年度の実績として、活動の場を生み出したとしても、それを継続していくためには、それを実施していただける元気な高齢者の方々が必要だということを実感いたしました。29年度は、活動の担い手となり得る高齢者の方々を発掘することを目標に挙げました。

以上になります。

(高良委員長)

ありがとうございました。

1カ所以上集まる場所ができたというのが、本町4丁目にできた新たに集まる場所にことですか。

(雨宮氏)

以前から、さくら体操をもとにして各町会さんに1カ所ずつつくってまいりまして、

最後にできていなかった本町4丁目が28年度に開催されましたので、全部の町会に1カ所以上つくることができました。

(高良委員長)

それぞれの町会、町内に1個ずつできて、活動に関しては、それぞれのニーズというか、やりたいことをやられているのでしょうか。

(雨宮氏)

そうです。

(高良委員長)

そうすると、次の新たなニーズがあるのではないかということにお気づきになられて、今年度は、居場所以外のニーズということで、想定されていらっしゃるということだと思いますので、流れとして、今までやってこられたことの蓄積から、今度、新たにやられる目標を立てられて、動いていかれるという状況ができていないのでしょうか。

また、担い手になってくれる元気な高齢者を発掘するというのは、ほかのところも、かなりいろんなところで課題になっているところではないかと思しますので、必要がありましたら、皆様と御検討できればと思います。

続いて、みなみ包括馬場様お願いいたします。

(馬場氏)

平成28年度の小金井市地域課題分析・評価シートについて、地域課題は、転びやすい人が多い、外出している人が多い、痩せている人が少ないという課題がございます。目標は、地域にある課題を調査していく、エリア内の地域資源の確認・把握をする、新たな居場所を開催すると目標を掲げております。

それに対して、地域課題の変化なのですが、一番最初の転びやすい人が多いというところに対しては、昨年度は、さくら体操の会場に理学療法士の方に出張してもらい、体操を行うなどして対応してまいりました。

2番の外出する人が多いというところでは、貫井南エリアのところでは外出している人が多いのですが、結果の地域課題の変化のところでは、反対に引きこもりの数が多かった前原1丁目、2丁目のところに集いの場ができたので、多少そこの課題は解決できたのではないかと考えております。

3番の痩せている人が少ないという課題があったところでは、この変化というのは、はかるものではないため、3番は目立った変化が見られないと書かせていただきました。

29年度の地域課題対応活動計画・評価シートに移ります。今年の目標は、徒歩や自転車での範囲で出かけられる拠点を充実するというを長期活動目標とさせていただきました。

短期活動目標は、地域（貫井南エリア）にある課題を調査していくとしております。ここは、貫井団地がありまして、市内でも特に高齢化率の高いエリアになっているため、今後、地域の方と話し合いをして、課題を探していけたらと思っています。また、地域住民が考える課題を掘り下げる、出かけるきっかけをつくるといったことも目標としています。

さらに、既存の居場所を活性化することも目標として挙げています。去年は、前原1丁目、2丁目、工学院専門学校などで、居場所づくりに取り組みましたが、実際にサロンを立ち上げて、集客が望めないという御意見もありまして、そういうところの活性化を図っていきたいと思っています。

（高良委員長）

ありがとうございました。次にきた包括黒松さん、お願いします。

（黒松氏）

課題分析・評価シートに沿って説明させていただきます。昨年度の目標は、どの地域にも歩いて行ける距離にある居場所をふやすというものでした。

それに対する評価ですが、高齢者の利用する公民館、病院、薬局、カフェなど、20カ所に地域とつながる応援ブックを配布・設置することができました。

また、緑町に新たなサロンを1カ所立ち上げ、3回実施することができました。

さらに、資源の少ない関野町に1カ所居場所を見つけることができました。これがまだ資源という段階でありますけれども、高齢者の居場所となっていくには、これからの関りが必要だと考えています。

29年度の計画となります。長期目標としては、前年度に引き続き、どの地域にも歩いて行ける距離に場所ができるように、集まれる場所をふやすことを掲げています。

短期目標としては、応援ブックを有効に活用できるように、情報を必要としている方々とのマッチングを進めていきたいと考えています。

2番目が活動同士のネットワークづくりです。何か地域の役に立てることをしたいと思っていらっしゃる個人や団体の方々をうまくマッチングできるように、関係を深めていこうと思っています。

3番目、新たな活動の発掘・立ち上げ支援ということですが、先ほどの関野町に発掘した資源など、まだまだ地域の方には浸透していないものもあるため、情報を発信していければと考えています。

（高良委員長）

ありがとうございました。

何か御質問、御意見等がありましたら、お願いいたします。

（近江屋氏）

緑町にできた新しいサロンというのは、何というサロンなのですか。

(黒松氏)

緑町5丁目のピースガーデン小金井さんに地域交流スペースというものを設置されていますので、そこを使ってお力になりたいという薬局さんとコラボレーションして、そちらで薬相談とお茶飲み話ができる場所という形で、定期的を開催できるようになりました。

(高良委員長)

どうですか。集まってこられていらっしゃるでしょうか。

(黒松氏)

まずピースガーデンさんは、もともとさくら体操をやっていたので、さくら体操にくっつけるような形での開催をしました。さくら体操の方に協力していただいております、人はそれなりに来ていただいております。

(高良委員長)

ありがとうございます。それでは、後ほど協議事項で上がってくると思いますので、詳しいところは、そちらで御検討いただければと思います。最後になりましたが、ひがし包括の金子さん、お願いいたします。

(金子氏)

課題分析・評価シートですが、28年度の目標は、今ある社会資源を活用し、居場所づくりをする、さくら体操自主グループの新会場を立ち上げる、体操終了後に食事会を行うという目標を設定いたしまして、活動してまいりました。

結果評価といたしまして、居場所が少ない地域でありました中町1丁目、4丁目地域、坂下地域にさくら体操の自主グループを新規に立ち上げることができました。

居場所づくりということで、定期開催はできませんでしたが、昨年度の5月と11月に地域の保育園の園児さんと地域の高齢者が一緒になってさくら体操を行うといったイベントを開催しました。これについては、次回開催を熱望される声を聞いております。また、つきみの園の園庭でさくら体操を自主活動として行っておりましたが、昨年度10月から体操終了後に参加された方を対象として、月に1回施設の食事を提供するお食事会を開始いたしました。お申込みをいただいた方に、施設御利用者様のお食事と同じものを召し上がっていただくという取り組みを行っております。

回数を重ねるごとに、季節的にもさくら体操の参加者もふえてきていましたので、顔なじみになられた方々が誘い合って、お食事をして、小一時間半、お話をされて、お過ごしされている姿が見受けられておりますので、この事業としては、継続していきたいと思っております。

29年度の目標ですが、地域高齢者に地域活動の情報を発信していきたいと思っております。その中で、1番としましては、可視化できるような情報マップを圏域に特化したものをつくりたいと思っております。作成した上で、地域にお持ちし配布でき

るような形で、地域に出ていければと思っております。

あわせて地域の方々から、健康情報に関するお話会だとか、そういったお声が聞かれることが多々ありましたので、昨年からリハビリ専門職の方とタイアップして、何かそういった健康情報を発信するようなところを設けられたらと思っております。

そのほか、地域に出ていくというところで、地域のニーズを把握したり、既存にある活動の継続フォローをしていければと思ひまして、短期目標とさせていただきます。

(高良委員長)

園児との体操は、好評でいらっしやったんですね。こういったところをふやしていくという回数を年2回ではなくて、ふやしていくみたいな計画は、今年度はないのですか。

(金子氏)

まだ保育園の園長先生とも御相談を重ねないといけないのですが、今年度は、年1回は行いたいと考えております。

## (2) 協議事項

きた地区の今後の具体的展開について

(黒松氏)

きた地域の報告として、2つ大きなものを挙げさせていただきます。

1つ目は、先ほども出ました緑町に新たなサロンができた件で、「地域交流生き生きサロン健康セミナー」という名前で、昨年度3回開催したものです。

28年度6月に開催した小地域ケア会議に、市内の薬局から地域に貢献したいが薬局だと、ちょっと狭くて人が集められないという話が上がりました。そのときに、地域でのサ高住を立ち上げられたピースガーデンさんから、施設内の地域交流スペースを提供したいというお話いただきました。そこでコーディネーターが間に入って、きた包括も共催しサロンを8月に開催しました。内容としては、薬局側で契約している管理栄養士の方に栄養に関しての講演をしていただきました。また、薬剤師の方によるお薬相談やお薬の飲み方講座みたいなものも設けながら、そういった講演で、薬剤師、管理栄養士による講座を行いました。

現在の課題としては、費用等を施設側が全て用意してくださっているのですが、今後、そういったものを地域の自主活動につなげていくためには、どういうふうを考えていったらいいのかということです。

2つ目は、きた圏域にあります、けやき通り商店会との連携です。商店会では都の助成金を使った事業で「けやき通りがどういった商店会になったらいいか」というア



ンケートを3月に取ったところ、高齢者の居場所が欲しいということと、高齢者の見守りのシステムを何か商店会として担ってほしいという意見が報告されたとのことでした。

それを受けて、商店会と包括が協力して何かできないかと模索し始めたのですが、同じけやき通りの中に、本町高齢者サービスセンターというデイサービスの施設がありまして、協力していただけることになりました。

私たちのチームの名前を「みんなの安心支え愛いネット」と名付け、プロジェクトとして、地域にどんなことができるかということをもみんなで考えるということをも、まず始めてみたところになります。

### (3) 次回協議体の開催予定

3 その他

4 閉会